

# 31131113(本部番号) 林野庁共済組合 様

## 2020年度版 貴共済組合の健康スコアリングレポート

\* 本レポートは、2016~2018年度のデータに基づいて作成しています。

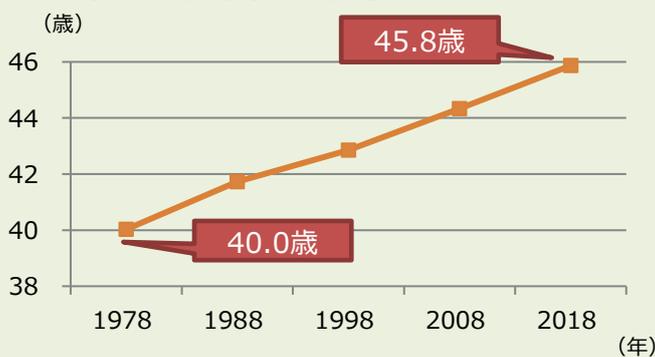
- 我が国は既に人口減少、超高齢化社会に突入し、深刻化する人手不足に加え、職員の平均年齢の上昇による健康リスクの増大、生産性低下といった構造的課題に直面しています。
- 職員がいつまでも元気で働き続けられる環境づくり、予防・健康づくりなくして、各省庁等における持続的成長の実現は困難です。
- そのためには、共済組合と各省庁等が連携し、一体となって予防・健康づくりの取組を進める必要があります。
- 本レポートでは、各省庁等と共済組合のコミュニケーションの一助となるよう、予防・健康づくりの取組状況や健康状況等を可視化しています。各省庁等においては、各省庁等の財産である職員等の健康を守るために、共済組合と連携した職員等の予防・健康づくりの取組のさらなる推進にご活用ください。なお、健康状況等に関する詳細情報は共済組合にお問い合わせください。

### 共済組合の保健事業が健康課題の解決策に！



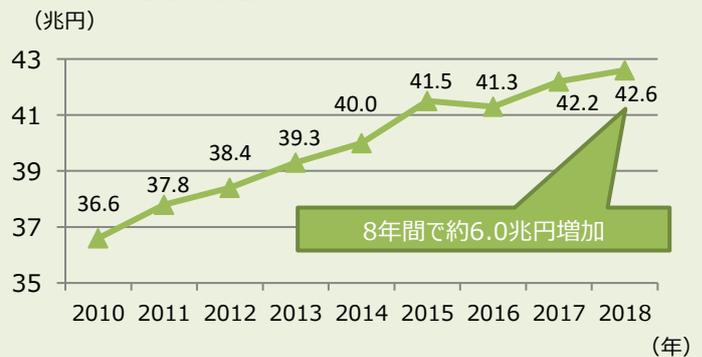
少子高齢化の進展や定年延長といった社会環境の変化に伴い、労働者の平均年齢の上昇に加えて、共済組合における医療費も増加を続けています。こうした中で、職員等に対する予防・健康づくりの取組をより一層進めるために、各省庁等と共済組合による協働が求められています。

#### ■ 就業者の平均年齢の推移



※総務省統計局「労働力調査」に基づく推計（5歳階級の中央の年齢に就業者数を乗じた値を積み上げ、全就業者数で除す方法で算出）

#### ■ 医療費の推移



※厚生労働省「医療費の動向-MEDIAS」に基づき作成。医療費は全保険者の総額。

# 貴共済組合の予防・健康づくりの取組状況と健康状況の概要

## 【貴組合の特定健診・特定保健指導の実施状況】

### 特定健診・特定保健指導

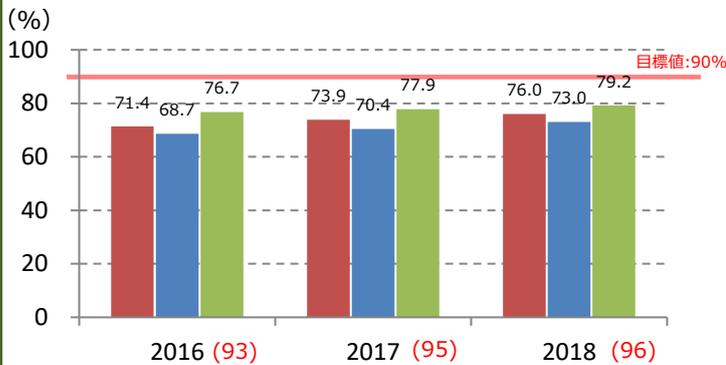


全共済組合順位

82位 / 85組合

### 特定健診の実施率

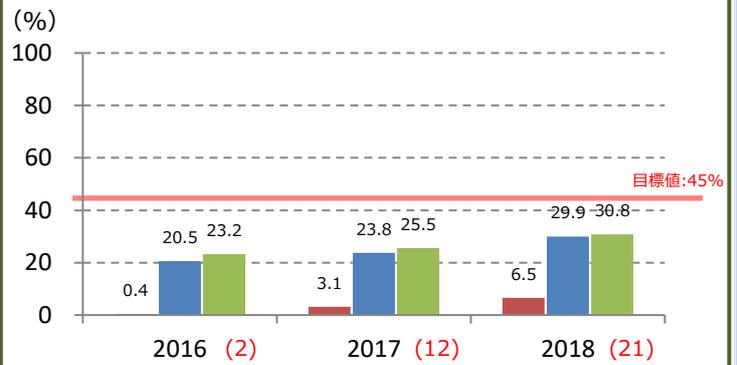
1ランクUPまで (\*1) あと 351人



特定健診の実施率	2016	2017	2018
貴組合	71.4% 73位 / 85組合	73.9% 74位 / 85組合	76.0% 69位 / 85組合
国共済平均	68.7%	70.4%	73.0%
全組合平均	76.7%	77.9%	79.2%

### 特定保健指導の実施率

1ランクUPまで (\*1) あと 62人



特定保健指導の実施率	2016	2017	2018
貴組合	0.4% 85位 / 85組合	3.1% 81位 / 85組合	6.5% 83位 / 85組合
国共済平均	20.5%	23.8%	29.9%
全組合平均	23.2%	25.5%	30.8%

※ 目標値は、第3期（2018～2023年度）特定健康診査等実施計画期間における保険者種別目標。

※ 順位は、保険者種別目標の達成率の高い順にランキング。

※ ( )内の数値は、全組合平均を100とした際の貴組合の相対値。

■ 貴組合 ■ 国共済平均 ■ 全組合平均

(\*1) "ランクUP"は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安（実施人数）を記載

## 【貴組合の健康状況】 生活習慣病リスク保有者の割合

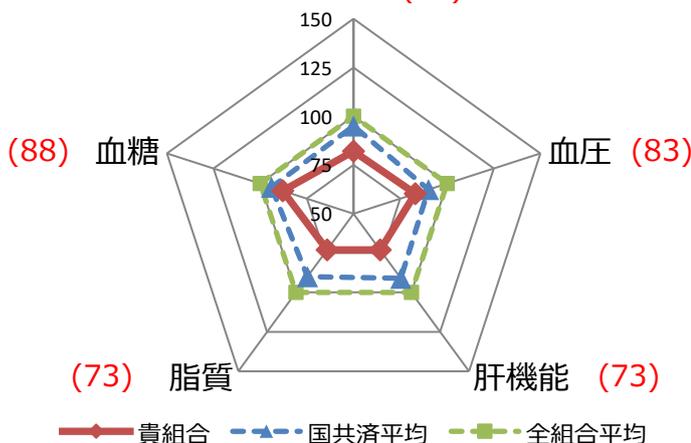
### 健康状況



\* 数値が高いほど、良好な状態

肥満 (82)

[全組合平均：100]



リスク	良好	中央値と同程度			不良
肥満リスク	😊	😊	😐	😞	😡
血圧リスク	😊	😊	😐	😞	😡
肝機能リスク	😊	😊	😐	😞	😡
脂質リスク	😊	😊	😐	😞	😡
血糖リスク	😊	😊	😐	😞	😡

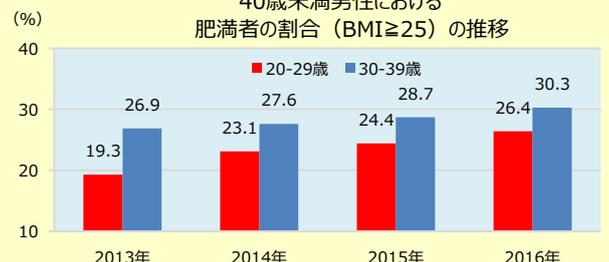
※ 2018年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

## 【参考】若年層からの健康づくりへの取組が大事！

近年、20歳代の肥満者の割合が増加傾向にあり、若年層から健康づくりに取り組むことが重要です。

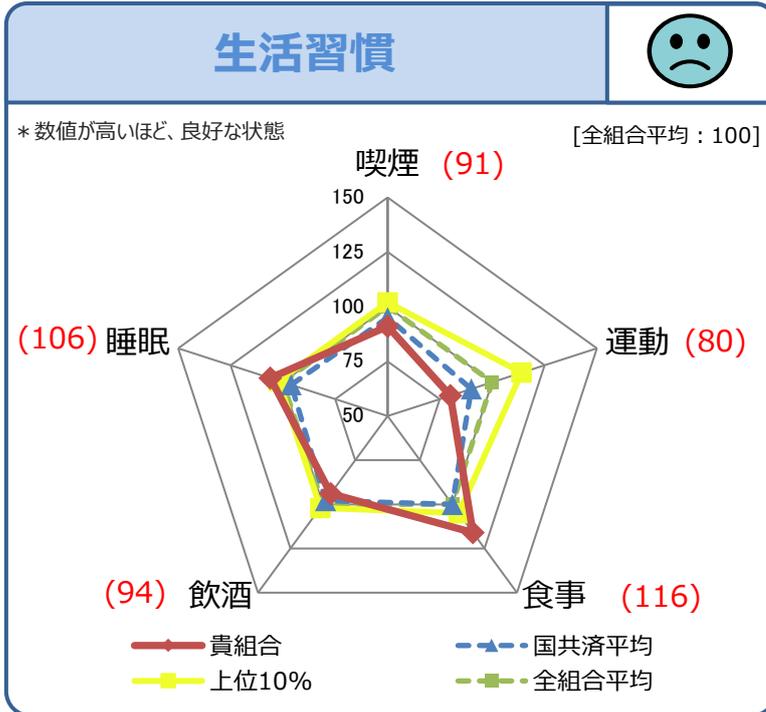
出典：平成29年国民健康・栄養調査より3年間の移動平均にて作成

40歳未満男性における肥満者の割合 (BMI≥25) の推移



# 貴共済組合の生活習慣

## 【貴組合の生活習慣】 適正な生活習慣を有する者の割合



リスク	良好	← 中央値と同程度	→ 不良	ランクUPまで (*1)
喫煙習慣 リスク				あと 107人
運動習慣 リスク				あと 63人
食事習慣 リスク				最上位です
飲酒習慣 リスク				あと 77人
睡眠習慣 リスク				あと 34人

※ 2018年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。  
 ※ 生活習慣データについては、一部任意項目であるため、保険者が保有しているデータのみで構成。  
 ※ 上位10%は全共済組合の「総合スコア」上位10%の平均値を表す。

(\*1) "ランクUP"は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安 (リスク対象者を減らす人数) を記載

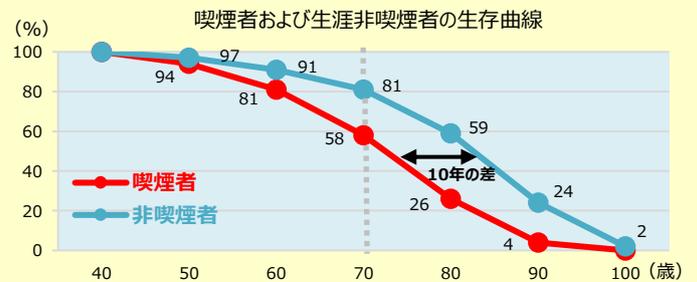
健康状況の経年変化	2016	2017	2018	
肥満	貴組合	84	82	82
	国共済平均	93	94	95
血压	貴組合	86	82	83
	国共済平均	90	89	90
肝機能	貴組合	74	74	73
	国共済平均	89	90	91
脂質	貴組合	77	75	73
	国共済平均	88	89	90
血糖	貴組合	98	91	88
	国共済平均	93	99	94

生活習慣の経年変化	2016	2017	2018	
喫煙	貴組合	91	91	91
	国共済平均	95	95	95
	上位10%	97	100	102
運動	貴組合	80	82	80
	国共済平均	94	89	90
	上位10%	116	118	114
食事	貴組合	106	107	116
	国共済平均	103	98	100
	上位10%	103	103	105
飲酒	貴組合	93	92	94
	国共済平均	102	98	98
	上位10%	103	102	102
睡眠	貴組合	107	111	106
	国共済平均	104	96	96
	上位10%	102	103	102

## 【参考】 健康に働き続けるには禁煙が大事！！

非喫煙者と喫煙者では、70歳時点で、35歳からの生存率が前者は81%であるのに対し、後者は58%となっています。健康に働き続けるためには禁煙することが重要です。

出典：Doll R, et al. : BMJ. 328(7455): 1519,2004より作図

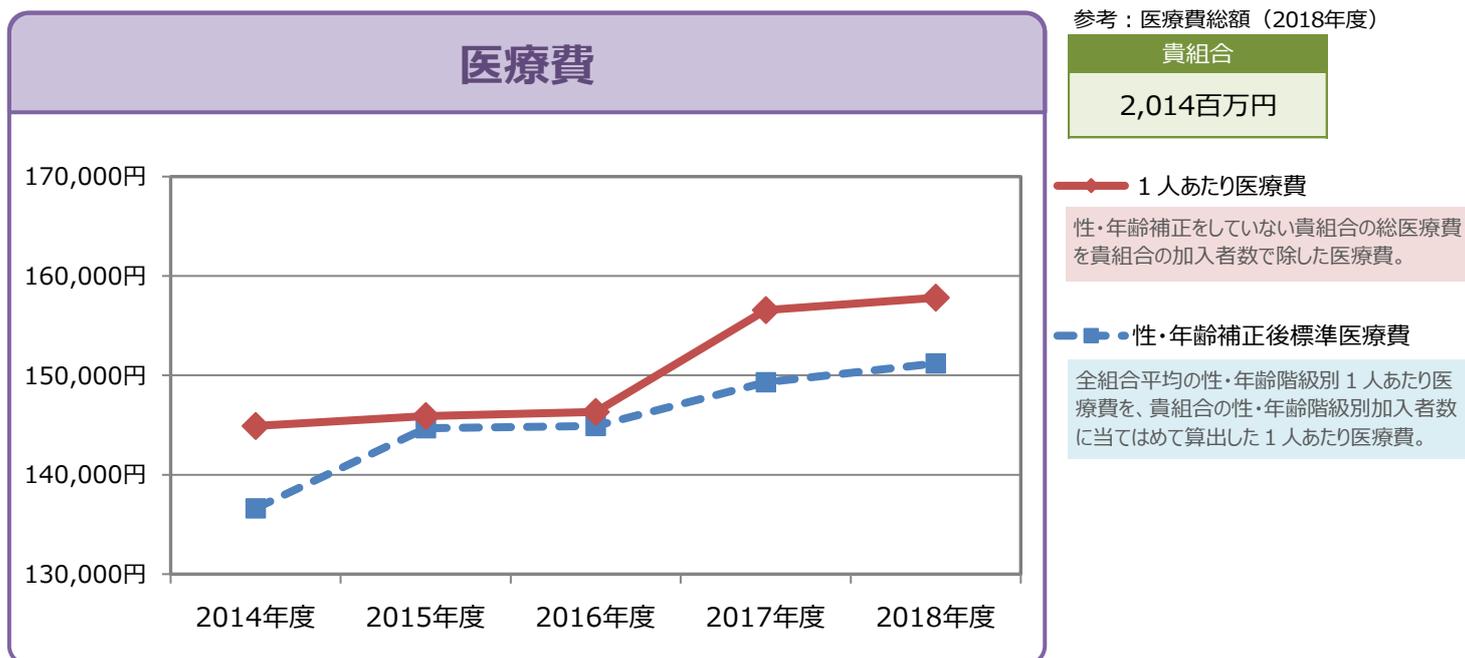


(注) 【本レポートにおけるデータ対象】

- ・医療費：全加入者 / 特定健診（健康状況・生活習慣）：40歳～74歳。
- ・健康状況・生活習慣・医療費は、対象となる加入者数50名未満の場合データを非表示。

# 貴共済組合の医療費概要

## 【貴組合の医療費の状況】 1人あたり医療費と性・年齢補正後標準医療費の推移



	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
1人あたり医療費	144,909円	145,912円	146,304円	156,574円	157,811円
性・年齢補正後標準医療費	136,623円	144,666円	144,912円	149,317円	151,199円

### 【貴組合の1人あたり医療費（2018年度）】

貴組合	性・年齢補正後標準医療費	性・年齢補正後組合差指数
157,811円	151,199円	1.04

### 参考：貴組合の男女別・年代別1人あたり医療費（2018年度）

	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代～
貴組合	157,078円	158,822円	87,545円	107,641円	170,599円	220,533円	340,625円
国共済平均	123,461円	148,221円	69,645円	98,004円	126,344円	201,334円	320,499円
全組合平均	147,275円	154,114円	87,018円	116,634円	139,753円	219,832円	336,371円

※性・年齢補正後組合差指数とは、医療費の組合差を表す指標として、1人あたり医療費について、加入者の性・年齢構成の相違分を補正し、全組合平均を1として指数化したもの。指数が1より高いほど、全組合平均と比較して性・年齢補正後の医療費が高い傾向であることを示す。具体的な算出方法は、参考資料巻末「各指標の算出方法」参照。

健康スコアリングレポート【レポート本紙】

2020年度版

厚生労働省 日本健康会議 経済産業省